



社会資本整備審議会道路分科会 第15回東北地方小委員会を開催

8月5日(水)、宮城県仙台市AER(アエル)において、社会資本整備審議会道路分科会第15回東北地方小委員会が開催されました。

有識者によって構成された本委員会は、直轄事業の事業評価など、地方における道路事業の効率的な実施に関し、意見聴取することを目的としたものです。

今回の委員会では、当事務所の未事業区間である【津軽自動車道(柏～浮田)】の計画段階評価についての審議を行い、昨年実施したアンケートの結果



委員会の様子

を元に、「冬期交通環境の改善」「医療施設への速達性向上」等の政策目標を確定し、目標達成のための対策案として①全線新設②新設+現道改良③全線現道改良一の3つのルート帯案を提示しました。

今後は、地域住民や利用者を対象としたアンケートを行い、対応方針を決めていきます。

※本委員会における詳しい結果につきましては、当事務所ホームページに掲載されております。

こちらをクリックください →→→

津軽自動車道(柏～浮田)
計画段階評価



津軽自動車道は、東北縦貫自動車道の浪岡ICから五所川原市を通過し、日本海沿岸までを結ぶ計画延長約38kmの高規格幹線道路です。

未事業区間である「柏～浮田」間は、現在、事業化へ向け、ルート・構造検討に係る調査等を進めています。